

〈やまぎん〉

# ミニディスクロージャー誌

MINI DISCLOSURE

2021  
TRANSFORM



山形銀行

第209期 営業のご報告  
2020年4月1日～2021年3月31日

地域とともに成長発展し、  
すべてのお客さまにご満足をいただき、行員に安定と機会を与える

挑戦が、  
やまがたを  
強くする。

私たち山形銀行の北極星は、  
やまがたの未来に責任を持つこと。

やまがたのポテンシャルを最大限に引き出す、  
そのために、私たちには、  
やるべきことがある、できることがある。

金融という枠を超えて、  
もっと頼れる存在へ。

挑戦が、やまがたを強くする。

商号	株式会社 山形銀行 (The Yamagata Bank, Ltd.)
本店所在地	山形市七日町三丁目1番2号
電話	023(623)1221
創立年月日	1896年(明治29年)4月14日
資本金	120億円
店舗数	81カ店 (県内70カ店・県外11カ店)
従業員数	1,232名
預金残高	26,659億円 (譲渡性預金含む)
貸出金残高	17,481億円
自己資本比率	(パーセルIII国内基準)単体10.34% 連結10.79%
格付	A <sup>+</sup> (株式会社 日本格付研究所)
	(2021年3月末現在)

ごあいさつ	03
経営方針	04
経営戦略トピックス	06
数字でわかる<やまぎん>	10
業績ハイライト	13
財務データ・ファイル	14
<やまぎん>グループ	17
株式データ・役員	18



## 伝統的な銀行業務からの進化 金融・産業参画型ハイブリッドカンパニーへの挑戦

平素より山形銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。当行は、明治29年の創業以来、地域の成長発展とともに歩んでまいりました。これもひとえに、株主さまはじめ地域のみなさまからの長年にわたるご支援の賜物であると、心から感謝申し上げます。

さて、当行が営業基盤とする山形県は、人口減少、少子高齢化に伴う地域経済の縮小や中小企業における後継者難など、多くの課題を抱えております。また、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、県内経済は依然として厳しい状況にあります。

こうした状況を踏まえれば、地方創生や地域経済の活性化に果たすべき当行の役割は一層重要性が高まっているものと認識しております。コロナ禍によりお客さまや地域の課題が顕在化している現状において、企業のみなさまの資金繰り支援や経営改善支援、事業転換支援を最優先の課題と捉え、グループ一丸となって全力で取り組んでまいります。

当行では、本年4月より第20次長期経営計画「Transform」(2021年度～2023年度)をスタートさせました。当行の存在意義(パーパス)は、地域の発展に貢献していくことであります。山形の成長に責任を持つ企業として、持続可能な地域社会の実現を目指し、ESG(環境・社会・ガバナンス)、SDGs(持続可能な開発目標)への対応を強化しながら、これまで以上に地域価値創造に注力してまいります。

みなさま方には、引き続き温かいご支援と変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

取締役頭取 **長谷川 吉茂** 2021年6月



## 第20次長期経営計画「Transform」

当行は、3年間（2021年4月～2024年3月）を計画期間とする第20次長期経営計画「Transform」を策定しました。2030年の長期ビジョンに向けたフェーズ1として、コロナ禍からの地域経済・企業経営の回復支援を行うとともに、持続可能なビジネスモデルとしての金融・産業参画型ハイブリッドカンパニーを目指します。

### 当行を支える経営資源 （2021年3月末）

#### 財務資本

高い信用度と安全性

- 自己資本比率（バーゼルⅢ国内基準・単体） **10.34%**
- 格付（株式会社日本格付研究所） **A+**

#### 人的資本

高度な金融知識と幅広い提案力  
多様性に対応した組織体制

- 従業員数 **1,232名**
- 専門資格の活用  
FP1級、証券アナリスト、不動産鑑定士  
中小企業診断士、宅地建物取引士、公認会計士 他
- 「プラチナくるみん」取得 **全国初** 2015年4月
- 「健康経営優良法人（大規模法人部門）」認定 **4年連続**

#### 知的資本

総合金融情報サービスを提供可能なグループ態勢

- グループ会社 **7社**
- 両羽銀行からの歴史と伝統 **創立125年**

#### 社会関係資本

充実した店舗網と高いシェア

- 店舗数 **81カ所**
- ATM設置台数 **299台**
- 店舗外クイックコーナー **128カ所**

### ビジネスモデル

経営理念

地域とともに成長発展し、すべてのお客さまにご満足をいただき、行員に安定と機会を与える

長期ビジョン

お客さまの価値を共に創造し、地域ポテンシャルを最大化する金融・産業参画型ハイブリッドカンパニー

持続可能な地域社会の構築  
（地方創生や地域経済の再生・発展）

実現する  
**価値**

お客さま本位のビジネスと  
付加価値創造

フェーズ 3  
新たなビジネス モデルの確立

フェーズ 2

ハイブリッド の実現

フェーズ 1

コロナ禍への対応と ハイブリッドへの挑戦

第20次  
長期経営計画  
2021年4月～2024年3月

# TRANSFORM

重点 ① 戦略

コロナ禍・ポストコロナで  
のお客さまに寄り添った  
支援

重点 ② 戦略

コンサルティングビジネス  
強化と事業領域拡大  
に向けた取り組み

重点 ③ 戦略

質の高いサービスを提供  
するための構造改革とコス  
トマネジメント

重点 ④ 戦略

有価証券運用、リスク管理  
の高度化とリスクアペタイ  
ト・フレームワークの活用

第20次長計は2030年長期ビジョンに向けた10年間のフェーズ1と位置づけ、コロナ禍への対応と同時に、ハイブリッドカンパニーへの挑戦として、ビジョンにつながる施策を展開していきます

### ステークホルダーへ提供する価値

#### 地域社会

- 持続的発展への貢献・地方創生
- 地域経済の活性化・産業育成
- 環境保全への取り組み

#### お客さま

- 課題解決を通じたお客さまとの共通価値創造
- お客さまの安定的な資産形成、資産承継

#### 株主のみなさま

- 中長期的な企業価値の向上

#### 役職員

- 働きがいの向上
- 幅広い人材育成支援
- 多様な働き方と、ダイバーシティの推進

#### ESG経営とSDGs達成への取り組み

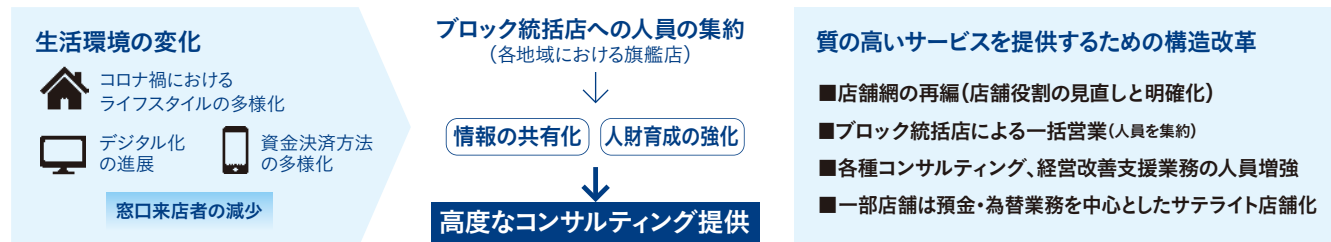
中長期的な企業価値の向上および持続可能な社会の実現を目指し、環境/Environment 社会/Social ガバナンス/Governanceに関する社会的課題の解決に取り組んでおります。地域に根差した銀行グループとして、企業活動を通して、SDGsに取り組むことで持続可能な社会の実現と社会の共通価値の創造に努めてまいります

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

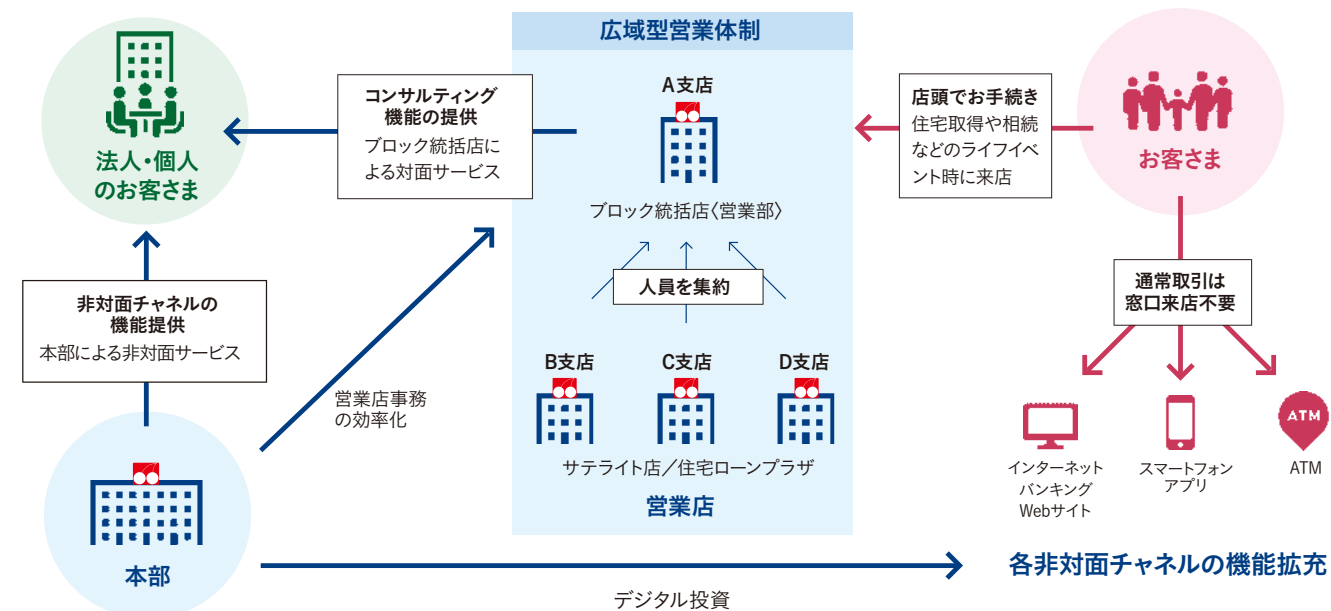
## 対面チャネルの最適化

地域金融機関にとって、お客さまとの接点は非常に重要です。お客さまのニーズに合った提案・サービスを提供していくため、店舗ネットワークの再編・経営資源の再配分により、対面サービスの質の向上を実現します。

### 対面サービスの質の向上



### 広域型営業体制による店舗ネットワークの最適化



## 非対面チャネルの充実化

コロナ禍での非対面取引ニーズの増加や世の中のデジタル化の加速などを踏まえ、デジタル技術を活用しお客さまの利便性の向上に取り組みます。

### 非対面チャネルの機能拡充

**インターネットバンキング**  
24時間365日、ご利用OK!

パソコンやスマートフォンでお取引いただけます。ご利用口座の明細確認やお振り込みに大変便利です。

**やまぎんアプリ**  
アプリ1つでかんたん資産管理

山形銀行の口座開設のほか、残高・取引照会、家計簿など、便利な機能が「いつでも」「かんたん」にご利用いただけます。

**ATM提携**  
さまざまな金融機関と連携

2020年12月より、ATM相互利用サービス「ふるさと山形ネットサービス(FYネット)」に株式会社荘内銀行が参加しました。これにより、FYネットは、当行、株式会社きらやか銀行、株式会社荘内銀行、3行による提携となります。

〈ATM提携・コンビニATM〉

- ・秋田銀行
- ・MYキャッシュポイント(七十七銀行・東邦銀行)
- ・ぐるっと花笠ネット(山形県内4信用金庫)
- ・ゆうちょ銀行
- ・イオン銀行
- ・イーネットATM
- ・ローソン銀行ATM
- ・セブン銀行ATM

### デジタル戦略によるサービス改革

**WEB完結型ローン**  
お申し込みから契約までWEBで完結するローン商品を拡充し、お客さまの利便性向上と事務の効率化を進めます。

**インターネットバンキング**  
2021年4月、入金明細の照会期間を拡大したほか、パスワードの再登録機能を追加しました。引き続き、さまざまな機能を搭載する予定です。

**諸届受付**  
各種諸届などのお申し込みをホームページで受付可能とするなど、メニューを拡充する予定です。

**保証協会等融資手続きの電子化**  
2021年3月、山形県内の一部の金融機関および市町村、山形県信用保証協会と共同で、「特別保証申請・管理システム」を導入しました。

**セキュリティ強化**  
インターネットバンキングやホームページの改善を継続し、セキュリティ機能を強化していきます。

**RPAのさらなる活用**  
本部の業務集中化部門を中心に、定型かつ大量の業務処理をRPAで代替することで、業務の効率化と迅速化を進めています。  
※RPA…定型的な事務作業を代行するソフトウェア

### キャッシュレス社会への対応

キャッシュレスサービスは、スマートフォンの普及や多数の事業者の参入によって急速に普及しております。当行では、キャッシュレス化を通じたお客さまの利便性向上のため、外部企業が提供するスマートフォンアプリを活用したキャッシュレス決済サービスなどに対応してまいります。

〈やまぎん〉PayB ▶



## SDGsへの取り組み

当行では、SDGsを経営に落とし込み、第20次長期経営計画の長期ビジョンへ盛り込んでいます。地域価値創造に向けた取り組みと活力ある地域社会づくりへの貢献など、さまざまな観点からSDGsに対する当行の取り組み事例をご紹介します。



**SDGsとは** 「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、すべての国連加盟国が2030年までの達成を目指す、貧困や教育、環境など17分野にわたる目標のことです。2015年9月の国連総会で採択された「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」に書き込まれており、「誰も置き去りにしない」という大きな理念を掲げています。

**当行とSDGs** 2019年7月、当行グループは、地域に根差した銀行グループとしてSDGsの達成に向けて取り組むことを表明しました。第20次長期経営計画においても、持続可能な地域社会の構築を目指す取り組みにより、SDGsに掲げられた2030年目標の達成に寄与することを公表しています。

## 地域価値の創造

### ものづくり支援への取り組み



山形県の産業競争力向上と県内企業の技術力向上支援を目的とした「(やまぎん)ものづくり技術力向上支援プログラム(やまぎんMSP)」に取り組んでいます。県内産業の成長・発展に向けて、外部機関と連携し、力強くサポートしてまいります。

▲「(やまぎん)ものづくり技術力向上支援プログラム中間報告会2020」

### 事業承継などの経営課題解決支援



後継者問題や事業の承継・多角化などのお悩み解決に向け、専門機関と連携し全面的にサポートしてまいります。また、お取引先企業のニーズに合わせて、最適なビジネスパートナーを紹介するなど、販路拡大や市場開拓、技術提携の支援にも取り組んでいます。

▲「(やまぎん)家族信託サポート〜Family Assist」を活用したWeb案件検討会

### やまぎん夢みらい応援私募債



私募債を発行される企業さまから受け取る引受手数料を優遇し、その優遇分を原資にして、発行企業から希望する学校などへの寄付や寄贈を行っています。  
 ▲2020年9月、東根市で行われたピーアイエス株式会社さまの「(やまぎん)夢みらい応援私募債」の発行に伴う山形県立産業技術短期大学校さまへの目録贈呈式の様子

### 新たなビジネス創造への挑戦



2019年12月、TRYパートナーズ株式会社を設立しております。県内の優れた技術・製品を県内外に販売する「地域商社事業」と、経営戦略立案・人材育成・業務効率化などを支援する「コンサルティング事業」を2つの柱として、お客様の経営をフルパッケージでサポートいたします。  
 ▲2020年11月「人材ビジネスマッチングイベント」

## 成長と変革の土台構築

### 再生可能エネルギーへの取り組み



環境・農業・観光・海外進出などを成長分野と位置づけております。環境分野では、メガソーラー発電事業をはじめ、風力発電事業、水力発電事業、バイオマス発電事業への融資支援を行うなど、積極的に取り組んでおります。

▲風力発電事業への融資支援

### リスク管理態勢の強化



各種リスクを可能な限り統合的に把握・管理するとともに、状況に応じた各種施策を実施しています。収益とリスクのバランスを図ることで経営の健全性と安定収益の確保につなげるため、リスク管理態勢の整備・充実に取り組んでおります。

▲日銀主催「地域銀行リスクアパタイト・フレームワーク(RAF)研究会」での当行の講演

### コンプライアンスの徹底



コンプライアンスは、銀行の社会的責任と公共的使命を果たすために必要不可欠であるという認識のもと、全行挙げてコンプライアンスの徹底に努めております。

▲2020年1月、当行・グループ会社全職員へ交付した「コンプライアンスカード」と、2020年7月より全店に掲示している「コンプライアンス・ポスター」

### 柔軟な働き方と働きやすい環境整備



2021年4月、職員の自主性や多様性を尊重し、柔軟な働き方や働きやすい職場環境を整備するため、テレワークの導入、継続雇用期限の延長、勤務時間における服装の多様化、休職制度の運用拡大を実施いたしました。

▲2021年2月、オンラインで行われた育児休職者セミナー

## 活力ある地域社会づくり

### ライヤーズによるスポーツ振興



女子バスケットボール部「ライヤーズ」は、実業団大会で上位入賞の常連となるなど、全国を代表する実業団チームとして活躍しております。

▲日本一を目指します

### 産学官金連携



企業の産業技術改善や新技術の研究、新商品の開発支援などを目的に、山形大学など県内6校と産学連携協定を結んでいます。また、学校法人大原学園と業務提携を行っています。

▲当行と株式会社丸市運送さま、東根市、東北芸術工科大学の4者連携で実現した「果樹王国東根ラッピングトラック」が完成

### 金融経済教育



明日を担う子どもたちを金融犯罪などから守り、自らの責任において主体的な経済活動ができる人材の育成を図るため、金融経済教育を行っています。

▲2021年4月、お仕事体験イベント「キッズタウンやまがた」

### 森林保全活動ぐるっと花笠の森



県内4信用金庫と連携し、2010年より植栽や下刈りなどの森づくりを行っています。2020年度も山形県より「山形県CO2森林吸収量認証書」を拝受しております。

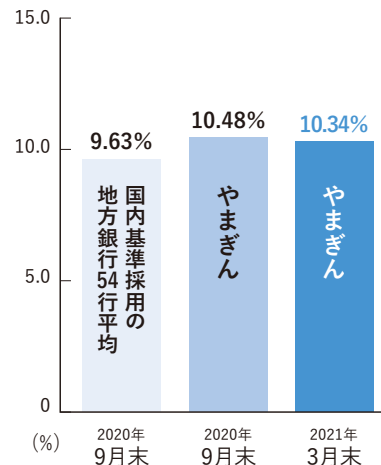
▲「山形県CO2森林吸収量認証書」

## 経営の健全性

当行は、高い健全性を維持しております。

### 自己資本比率

〈やまぎん〉は10.34%と高水準で安定した比率を維持しております。

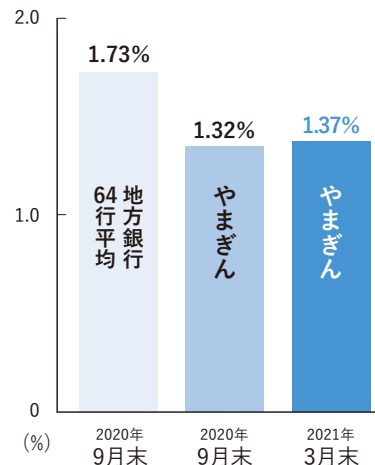


#### 用語解説【自己資本比率】

銀行の健全性を表す代表的な指標であり、国内基準では自己資本比率4%以上を維持することが求められております。

### リスク管理債権比率

〈やまぎん〉は1.37%と良好な水準となっております。

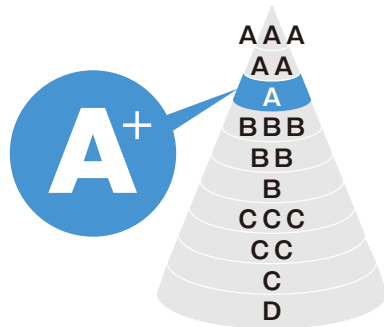


#### 用語解説【リスク管理債権比率】

総貸出金に占める銀行法で定められた不良債権「破綻先債権」、「延滞債権」、「3カ月以上延滞債権」、「貸出条件緩和債権」の割合を表しております。

### 格付

〈やまぎん〉は「A+」の高い評価を受けております。



債務履行の確実性は高い  
(格付機関：株式会社日本格付研究所  
2021年3月末現在)

#### 用語解説【格付】

企業などが発行する債券等の元金支払いの安全度を公正な第三者機関が客観的に評価し、簡単な記号で表したものです。銀行の場合、預金の元本と利息が確実に支払われるかどうかを表しており、銀行の信用度や安全性を示す代表的な指標としても使われております。

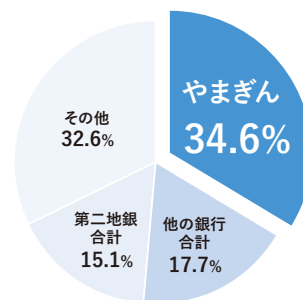
## 経営の安定性

山形県のリーディングバンクとして、強固な事業基盤を確保しております。

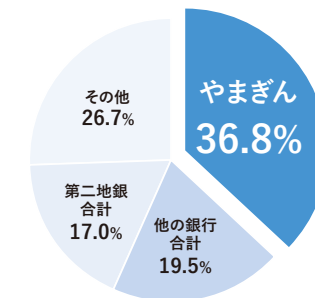
### 山形県内シェア

〈やまぎん〉は県内トップシェアを維持しております。

#### ●預金シェア

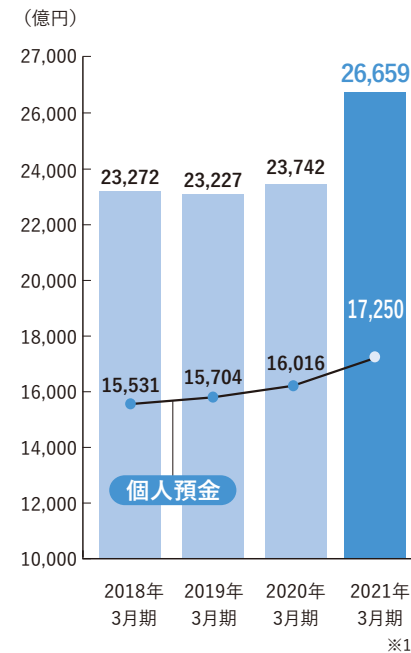


#### ●貸出金シェア



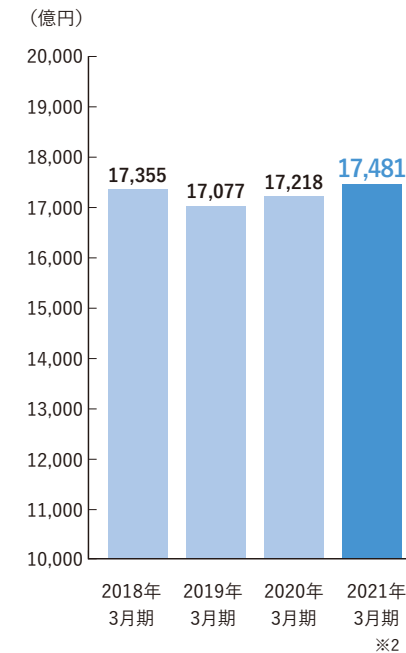
(注)2021年3月末、ゆうちょ銀行、政策金融機関を除く

### 総預金(末残)



総預金(預金ならびに譲渡性預金)は、個人預金や法人預金が増加したことなどから、前年比2,917億円増加し、期末残高は2兆6,659億円となりました。

### 貸出金(末残)

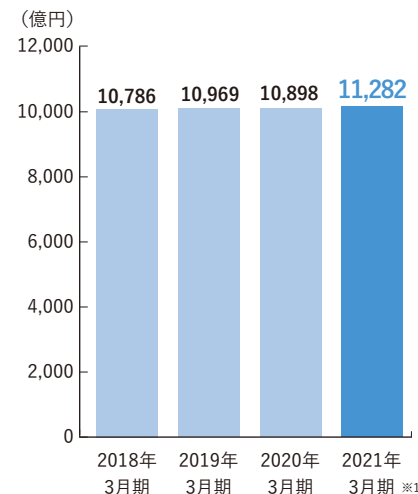


貸出金は、個人向けや地方公共団体向け貸出は減少したものの、一般貸出が増加したことから、前年比262億円増加し、期末残高は1兆7,481億円となりました。

※1・※2 計数は単位未満を切り捨てて表示しております。

経営の安定性

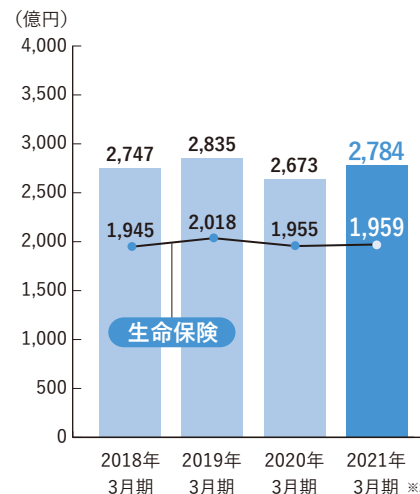
中小企業等貸出残高



中小企業等貸出残高は、コロナ対策資金など、運転資金への対応を主因に、前年比383億円増加し、期末残高は1兆1,282億円となりました。

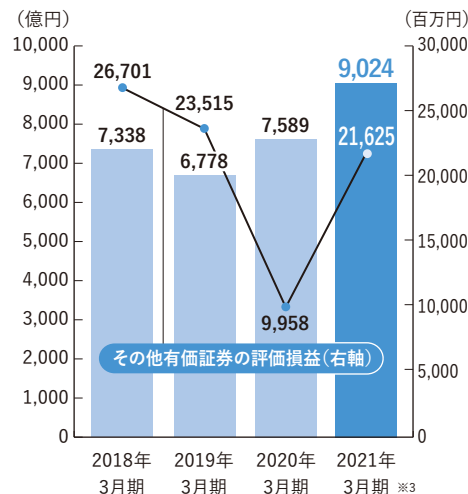
(注) 中小企業等貸出残高は、中小企業および個人に対する貸出の合計残高であります。

預かり金融資産(末残)



預かり金融資産は、投資信託や公共債が増加したことなどから、全体では前年比110億円増加し、期末残高は2,784億円となりました。

有価証券(末残)



有価証券は、社債や投資信託などの収益が見込まれる資産への投資を進めた結果、前年比1,434億円増加し、期末残高は9,024億円となりました。

※1・※2・※3 計数は単位未満を切り捨てて表示しております。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う貸出金の状況

県内企業を中心にお客さまの資金繰り支援に最優先に取り組んだ結果、2021年3月期末の貸出金残高は過去最大となりました。

資金繰り支援(2021年3月迄)

コロナ関連融資実績(事業性)	
2,869件	939億円

経営改善支援(2021年3月迄)

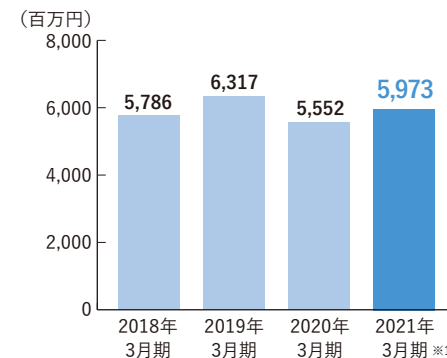
コロナ関連条件変更(事業性)	
231件	128億円

コロナ禍で業況悪化などの影響を受けた取引先に対し、営業店・本部が一体となって経営改善支援を強化してまいりました。

営業店・本部一体による経営改善支援の取組先数	299先
うち条件変更先に対する計画策定等支援	189先
うち定期的なモニタリング等のフォロー	86先
うち本部主導による重点的な経営改善支援	24先

損益の状況

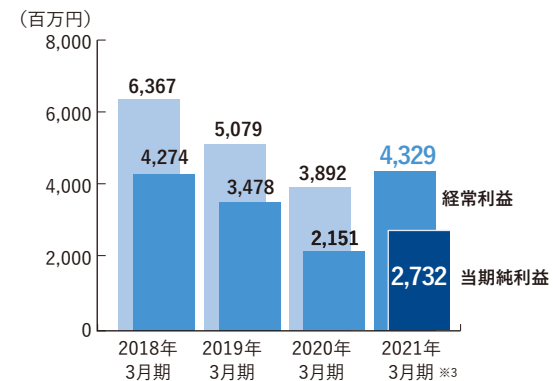
コア業務純益



コア業務純益は、資金利益の増加などから、前年比4億21百万円増加し、59億73百万円となりました。

【用語解説】 預金、貸出金、有価証券など銀行の本業による利益である「業務純益」から、特殊要因で大きく変動する「債券関係損益」、「金融派生商品損益(債券関係)」および「一般貸倒引当金繰入額」を除いたもので、銀行本来の収益力を表す指標です。

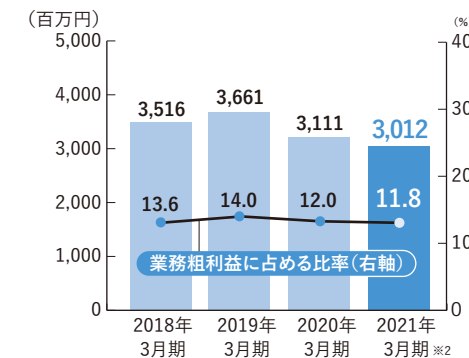
経常利益・当期純利益



経常利益は、コア業務純益の増加などから、前年比4億36百万円増加し、43億29百万円となりました。また、当期純利益は、前年比5億80百万円増加し、27億32百万円となりました。

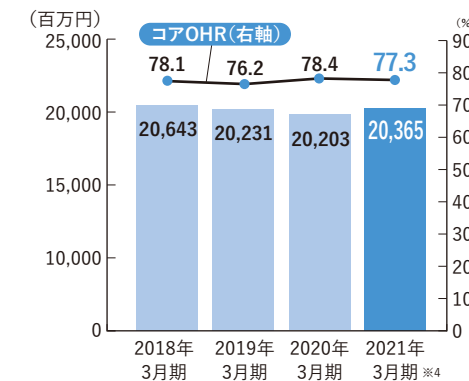
※1・※2・※3・※4 計数は単位未満を切り捨てて表示しております。

役員取引等利益



役員取引等利益は、前年比99百万円減少し、30億12百万円となりました。また、役員取引等利益が業務粗利益に占める比率は、11.8%となりました。

経費・コアOHR



経費は、全般的な経費削減に取り組む一方、必要な投資を行いました結果、前年比1億61百万円増加し、203億65百万円となりました。また、コアOHRは、前年比1.1ポイント改善し、77.3%となりました。

【用語解説】 「コア業務粗利益」に対する「経費」の割合を示しており、経営効率を図る代表的指標です。

単体財務諸表

貸借対照表

	第208期期末 (2020年3月31日)	第209期期末 (2021年3月31日)
(資産の部)		
現金預け金	86,116	394,585
コールローン	1,310	1,465
買入金銭債権	7,768	7,272
金銭の信託	481	1,261
有価証券	758,994	902,416
貸出金	1,721,894	1,748,110
外国為替	2,491	774
その他資産	30,232	31,303
有形固定資産	15,235	15,183
無形固定資産	3,540	3,519
前払年金費用	1,518	1,011
繰延税金資産	1,108	-
支払承諾見返	17,736	16,764
貸倒引当金	△8,921	△9,013
<b>資産の部合計</b>	<b>2,639,508</b>	<b>3,114,655</b>

◎貸借対照表について

資産の部は、主として資金運用の形態に応じて、現金預け金、コールローン、有価証券、貸出金などに区分して表示しております。当行の2021年3月期末の資産の部合計は、有価証券や貸出金の増加などにより前年比4,751億円増加し、3兆1,146億円となりました。負債の部は預金、譲渡性預金、借入金など、主に資金の調達状況に応じて表示しております。負債の部合計は、預金などの増加により前年同期比4,627億円増加し、2兆9,611億円となりました。

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単位:百万円

	第208期期末 (2020年3月31日)	第209期期末 (2021年3月31日)
(負債の部)		
預金	2,269,022	2,581,043
譲渡性預金	105,211	84,934
コールマネー	19,589	1,992
債券貸借取引受入担保金	65,505	8,318
借入金	7,980	253,265
外国為替	29	36
その他負債	11,441	10,072
役員賞与引当金	22	22
株式報酬引当金	101	96
睡眠預金払戻損失引当金	168	122
偶発損失引当金	304	290
繰延税金負債	-	3,006
再評価に係る繰延税金負債	1,270	1,156
支払承諾	17,736	16,764
<b>負債の部合計</b>	<b>2,498,385</b>	<b>2,961,124</b>
(純資産の部)		
資本金	12,008	12,008
資本剰余金	4,932	4,932
資本準備金	4,932	4,932
その他資本剰余金	0	0
利益剰余金	122,658	124,548
利益準備金	7,076	7,076
その他利益剰余金	115,582	117,472
別途積立金	112,020	113,020
繰越利益剰余金	3,562	4,452
自己株式	△3,173	△3,142
<b>株主資本合計</b>	<b>136,425</b>	<b>138,346</b>
その他有価証券評価差額金	6,854	15,052
繰延ヘッジ損益	△3,267	△839
土地再評価差額金	1,109	972
評価・換算差額等合計	4,696	15,184
<b>純資産の部合計</b>	<b>141,122</b>	<b>153,530</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,639,508</b>	<b>3,114,655</b>

損益計算書

単位:百万円

	第208期 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)	第209期 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)
経常収益	37,118	34,581
資金運用収益	25,351	25,067
貸出金利息	17,160	16,828
有価証券利息配当金	7,990	8,064
役員取引等収益	6,466	6,353
その他業務収益	3,798	1,381
その他経常収益	1,502	1,779
経常費用	33,225	30,252
資金調達費用	2,087	1,327
預金利息	643	494
役員取引等費用	3,354	3,340
その他業務費用	4,197	2,560
営業経費用	20,474	21,137
その他経常費用	3,111	1,887
経常利益	3,892	4,329
特別利益	3	-
特別損失	169	574
税引前当期純利益	3,727	3,754
法人税、住民税及び事業税	962	1,554
法人税等調整額	612	△532
法人税等合計	1,575	1,022
当期純利益	2,151	2,732

■経常収益について

経常収益は、貸出金利息などの資金運用収益や各種手数料などの役員取引等収益などを表しております。

■経常費用について

預金利息などの資金調達費用や営業経費用などの費用を表しております。

■経常利益について

経常収益から経常費用を控除して算出してあります。

■当期純利益について

経常利益に、特別損益や法人税などを加減して算出し、当期中の利益を表しております。

株主資本等変動計算書

2020年4月1日～2021年3月31日

単位:百万円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	12,008	4,932	122,658	△3,173	136,425
当期変動額			△980		△980
剰余金の配当			2,732		2,732
別途積立金の積立			-		-
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分				31	31
土地再評価差額金の取崩			137		137
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,890	30	1,920
当期末残高	12,008	4,932	124,548	△3,142	138,346

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	6,854	△3,267	1,109	4,696	141,122
当期変動額					△980
剰余金の配当					2,732
別途積立金の積立					-
自己株式の取得					△1
自己株式の処分					31
土地再評価差額金の取崩					137
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,197	2,427	△137	10,487	10,487
当期変動額合計	8,197	2,427	△137	10,487	12,408
当期末残高	15,052	△839	972	15,184	153,530



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
現金預け金	86,123	394,592
コールローン及び買入手形	1,310	1,465
買入金銭債権	8,051	7,584
金銭の信託	481	1,261
有価証券	758,083	901,513
貸出金	1,713,248	1,739,782
外国為替	2,491	774
その他資産	52,907	53,153
有形固定資産	15,445	15,419
無形固定資産	3,554	3,540
退職給付に係る資産	-	1,336
繰延税金資産	1,965	389
支払引当金	19,281	18,060
貸倒引当金	△9,824	△9,907
資産の部合計	2,653,119	3,128,968
<b>(負債の部)</b>		
預渡性預金	2,267,133	2,579,349
コールマネー及び売渡手形	101,111	80,834
債券貸借取引受入担保金	19,589	1,992
借入金	65,505	8,318
費用	13,505	258,073
外国為替	29	36
その他負債	16,790	15,378
役員賞与引当金	22	22
退職給付に係る負債	468	52
役員退職慰労引当金	9	10
株式報酬引当金	101	96
睡眠預金払戻損失引当金	168	122
偶発損失引当金	304	290
ポイント引当金	50	53
利息返還損失引当金	56	56
繰延税金負債	13	3,248
再評価に係る繰延税金負債	1,270	1,156
支払引当金	19,281	18,060
負債の部合計	2,505,412	2,967,155
<b>(純資産の部)</b>		
資本金	12,008	12,008
資本剰余金	10,215	10,215
利益剰余金	125,128	127,139
自己株式	△3,173	△3,142
株主資本合計	144,179	146,220
その他有価証券評価差額金	6,865	15,068
繰延ヘッジ損益	△3,267	△839
土地再評価差額金	1,109	972
退職給付に係る調整累計額	△1,342	225
その他の包括利益累計額合計	3,365	15,426
非支配株主持分	161	165
純資産の部合計	147,706	161,812
負債及び純資産の部合計	2,653,119	3,128,968

連結損益計算書

単位:百万円

	前連結会計年度 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)	当連結会計年度 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)
経常収益	44,041	41,225
資金運用収益	25,085	24,444
貸出金利息	17,161	16,826
有価証券利息配当金	7,716	7,434
役員取引等収益	7,507	7,422
その他業務収益	9,931	7,526
その他経常収益	1,516	1,831
経常費用	39,406	36,386
資金調達費用	2,115	1,350
預金利息	643	494
役員取引等費用	2,594	2,582
その他業務費用	9,624	8,012
営業経費用	21,767	22,437
その他経常費用	3,305	2,004
経常利益	4,634	4,838
特別利益	3	-
特別損失	169	574
税金等調整前当期純利益	4,468	4,264
法人税、住民税及び事業税	1,330	1,936
法人税等調整額	597	△528
法人税等合計	1,927	1,407
当期純利益	2,541	2,857
非支配株主に帰属する当期純利益	3	4
親会社株主に帰属する当期純利益	2,537	2,852

連結包括利益計算書

単位:百万円

	前連結会計年度 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)	当連結会計年度 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)
当期純利益	2,541	2,857
その他の包括利益	△10,539	12,198
その他有価証券評価差額金	△9,514	8,202
繰延ヘッジ損益	△566	2,427
退職給付に係る調整額	△458	1,568
包括利益	△7,997	15,056
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△8,001	15,051
非支配株主に係る包括利益	3	4

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

<やまぎん>グループは、当行および連結子会社7社で構成され、銀行業務を中心に保証業務、リース業務、クレジットカード業務、地域商社業務など、お客さまへの「総合金融情報サービス」をご提供しております。

2021年3月末現在

山形銀行

会社名 (主要業務内容)	設立年月日	資本金(百万円)	当行議決権比率(%)
山形保証サービス株式会社 信用保証業	1974年(昭和49年)11月1日	20	100.00
山形リース株式会社 リース業	1976年(昭和51年)4月8日	30	100.00
山形システムサービス株式会社 情報サービス業	1990年(平成2年)3月14日	20	100.00
やまぎんカードサービス株式会社 クレジット・金銭貸付・信用保証業	1991年(平成3年)6月21日	30	100.00
TRYパートナーズ株式会社 地域商社業・コンサルティング業	2019年(令和元年)12月9日	100	100.00
やまぎんキャピタル株式会社 有価証券の取得、保有、売却	1996年(平成8年)4月3日	100	5.00
木の実管財株式会社 財産管理業	1961年(昭和36年)6月6日	10	91.21

## 株式の状況 (2021年3月末現在)

### 株式数・株主数

株式数 発行可能株式総数 59,670千株  
発行済株式の総数 34,000千株

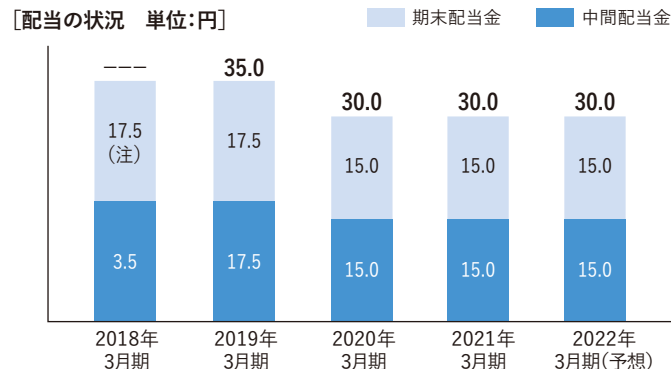
株主数 8,160名

### 大株主

株主名	当行への出資状況	
	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	千株 1,465	% 4.48
明治安田生命保険相互会社	1,438	4.40
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,362	4.16
両羽協和株式会社	1,209	3.70
山形銀行従業員持株会	1,103	3.37
株式会社三菱UFJ銀行	816	2.49
日本生命保険相互会社	710	2.17
住友生命保険相互会社	708	2.16
東京海上日動火災保険株式会社	447	1.36
株式会社合同資源	403	1.23

・持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
・持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
・持株比率は持株数を発行済株式(自己名義株式を除く)の総数で除して算出しております。

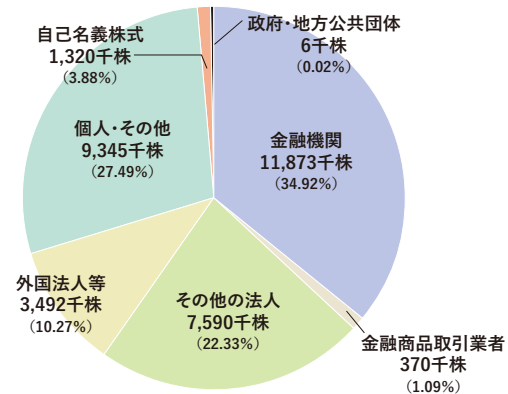
### 1株当たり配当金の推移



(注)2018年3月期期末配当金  
2017年10月1日付で、当行株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したことから、2018年3月期の期末配当金については、当該株式併合を勘案した金額とし、年間配当金合計は「---」と記載しております。

### 株式の分布状況

[所有者別]



・比率は小数点3位以下を四捨五入し表示しております。  
・金融機関には、銀行、信託、生保、損保、その他金融機関を含んでおります。

### 株式のご案内

#### 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

#### 定時株主総会

毎事業年度の翌日から3カ月以内

#### 配当の基準日

期末配当:3月31日 中間配当:9月30日

#### 定時株主総会の議決権の基準日

毎年3月31日

#### 単元株式数

100株

#### 公告掲載方法

電子公告をいたします。ただし事故その他やむをえない理由によって電子公告による公告ができない場合は、山形新聞および日本経済新聞に掲載いたします。  
なお、電子公告は当行のホームページに掲載しており、そのアドレスは次のとおりです。  
<https://www.yamagatabank.co.jp/>

#### 上場証券取引所

東京証券取引所市場第一部

#### 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

#### 【同事務取扱場所】

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

#### 【連絡先および郵便物送付先】

(連絡先) 東京都府中市日鋼町1-1  
電話 ☎0120-232-711  
(郵便物送付先)  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### 役員

取締役頭取(代表取締役)	長谷川 吉茂
専務取締役(代表取締役)	三浦 新一郎
常務取締役	永井 悟
常務取締役	小屋 寛
常務取締役	三澤 好孝
常務取締役	佐藤 英司
常務取締役	藤山 豊
常務取締役	長谷川 泉
取締役	駒込 勉
取締役	小松 俊幸
取締役	菅 友和
取締役(社外)	井上 弓子
取締役(社外)	原田 啓太郎
取締役 常勤監査等委員	垂石 卓朗
取締役 監査等委員(社外)	五味 康昌
取締役 監査等委員(社外)	尾原 儀助
取締役 監査等委員(社外)	松田 純一
取締役 監査等委員(社外)	押野 正徳

(2021年6月末現在)



2021年6月発行

株式会社 山形銀行

経営企画部 広報室

〒990-8642

山形市七日町三丁目1番2号

TEL.023-623-1221

URL <https://www.yamagatabank.co.jp/>